

あかまつ

豊岡小学校

校長室だより NO.10

R2. 5. 11

事故、不審者の連絡・報告

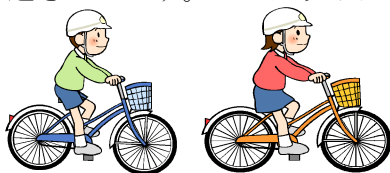
家庭内で**子ども**が大きなケガ（「救急車で運ばれた」「入院が必要なケガや病気」など）をした場合や、交通事故等にあってしまった場合など、すぐに（その日のうちに）**学校**に連絡をお願いします。

不審者に関する情報も、二次的な被害を防ぐために、できるだけ早く、**学校と警察**に知らせてください。

なお、休日や夜間であっても、次の連絡先に知らせてください。よろしくお願いします。

☎	教頭	090-	-
	校長	090-	-
	豊岡小学校	57-2134	
	豊成駐在所	57-2210	
	大仙警察署	63-3355	

また、以前から、子どもたちが自転車に乗る時のヘルメットの着用についてお願いしていますが、まだ着用させていない方がいましたら、どうか、再検討してください。子どもは特に頭部が大きいので、頭から落ちて、頭を打つことが多いです。昨年も大仙市内で、ヘルメットのおかげで大事に至らなかった事故が起きています。ヘルメットは2～4千円で購入できますので、「何かある前に…」どうか、検討願います。



クマ出没時の連絡

クマによる被害が、ニュース等で聞かれるようになってきました。もし、クマを見かけた場合は、次のように連絡をすることになっていますので、お知らせします。

また、学校にも知らせていただければ、ありがたいです。どうか、よろしくお願いします。

クマ発見者	→ 平日（8:30～17:15）
	中仙支所農林建設課 56-2113
	→ 土日祝日、上記以外の時間
	大仙警察署 か 豊成駐在所

※裏面に、「クマの被害防止に向けて」を載せましたので、子どもと一緒に読んで確認してください。よろしくお願いします。

ゆいゆいきゃっぷ回収

本来なら捨てられるだけのペットボトルキャップを回収することで、ゴミの減量化を図りながら、リサイクル意識を高め、キャップの売上金を住んでいる地域の福祉活動に使用する「ゆいゆいきゃっぷ回収事業」に本年度も参加します。

子どもたちのリサイクル意識を高めることは、将来のためにも、必要なことと考えます。ですから、全ての家庭からご協力いただければ、うれしく思います。

児童玄関の左側の入り口近くに回収ボックスを置いてありますので、よろしくお願いします。

- ※キャップについているシールをはがし、洗ってから学校に持って来ていただければ助かります。（汚れているキャップは、子どもたちが洗ってくれています）
- ※しょう油や洗剤などのキャップ、金属製のキャップは回収できません。

※いつもご協力くださっている皆様、本当にありがとうございます。今年度も、どうか、よろしくお願いします。

「問題です！」の答え

前号の裏面、「問題です！」の答えです。どうでしたか？難しかったですか？

- ①ーう ②ーい ③ーえ ④ーけ ⑤ーく
- ⑥ーお ⑦ーあ ⑧ーか ⑨ーき ⑩ーこ

クマの被害防止に向けて

本校で、平成29年7月14日（金）に開催された、大仙警察署と中仙地方猟友会、中仙支所の皆さんによる「クマの被害防止講話」の内容を紹介します。参考にしてください。

大仙警察署の方から、

- ・4月下旬から7月13日までの間、大仙地区でクマの目撃情報が75件あった。
- ・車で走行中に、道路を横切るクマの目撃情報が最も多く、ゴミ集積所での目撃情報もあった。

猟友会の方からは、

- ・道路等に食べ物を捨てないこと。一度味を覚えたら、クマはまたやってくる。待ち伏せしている。
- ・クマには臨界距離（クマと人間との間で保つべき距離）があり、通常は12メートル。子ども連れのクマであれば20メートル。この距離の中に入るとクマは襲ってくる。
- ・クマは100Mを9秒ぐらいで走る（個体によって異なる）ので、走って逃げることはできない。



・下校時にクマに出会ったら

- ①「だめだよ。こっちに来ちゃだめだよ。」と普通の声の大きさに声をかけながら後ずさりして（絶対に、クマに背を向けない）距離をとる。
- ②後ずさりしながら、手に持っている物（体育袋等）を放り投げる。クマは、放り投げられたものに注意をとられ、においをかいだりかみついたりするので、その間に距離をとる。
- ③さらに、ランドセルをその場において、距離をとる。
- ④それでも近づいてきたら、傘を持っていけば、傘を開きながら「わーっ！」と大声を出す。クマは自分より大きいものを怖がるので、人間から離れていく。

とのことでした。また、

- ・**最悪の場合**、クマに襲われたら、クマは人間の「顔」「後頭部」「頸椎（けいつい）」「お腹」の順におそってくるので、命を守るために

- ①手を組んで、頸椎をおおい、ダンゴムシのように丸まり、両腕の肘でお腹を守る。
 - ②長くても1分間ぐらい攻撃すれば、クマは去って行く。
- とのことでした。



中仙支所の方からは、

- ①クマも水浴びをするので、川や山等に子ども同士では遊びに行かない。
- ②クマの絵のついた黄色の看板は、クマがよく目撃される場所に設置されているので注意する。
- ③クマの絵のついた赤色の看板は、クマの捕獲用のオリを設置している場所なので近づかない。
- ④たぬきとアライグマとハクビシンは雑菌をもっているので近づかない。

などのお話をさせていただきました。